

2018年度化学物質環境実態調査結果 地域別データ

調査名: 詳細環境調査
 調査媒体: 底質(ng/g-dry)
 地方公共団体: 大阪市
 調査地点: 大川毛馬橋(大阪市)

調査対象物質	測定値			報告時 検出下限値	検出下限値
	検体1	検体2	検体3		
[2] 2-(4-エトキシフェニル)-2-メチルプロピル=3-フェノキシベンジルエーテル (別名: エトフェンブロックス)	19	5.1	2.9	0.13	0.14
[6] 中鎖塩素化パラフィン類(アルキル鎖の炭素数が14から17までで、かつ、塩素数が4から9までのもの。)	580	440	240	※※24	※※27
[6-1] 塩素化テトラデカン類(塩素数が4から9までのもの。)	200	190	97	※※7.6	※※7.5
[6-1] 塩素化テトラデカン類(塩素数が5から8までのもの。)	200	180	92	※※5.8	※※5.7
[6-1-1] テトラクロロテトラデカン類	2.8	3.0	1.1	0.91	1.1
[6-1-2] ペンタクロロテトラデカン類	31	29	11	1.8	1.8
[6-1-3] ヘキサクロロテトラデカン類	79	69	31	2.0	2.0
[6-1-4] ヘプタクロロテトラデカン類	62	58	33	1.0	0.99
[6-1-5] オクタクロロテトラデカン類	23	21	17	0.95	0.93
[6-1-6] ノナクロロテトラデカン類	7.1	5.9	4.0	0.94	1.2
[6-2] 塩素化ペンタデカン類(塩素数が4から9までのもの。)	170	140	85	※※4.8	※※4.7
[6-2-1] テトラクロロペンタデカン類	3.0	3.1	1.3	0.73	0.90
[6-2-2] ペンタクロロペンタデカン類	22	22	9.8	0.83	0.82
[6-2-3] ヘキサクロロペンタデカン類	56	48	25	0.86	0.84
[6-2-4] ヘプタクロロペンタデカン類	52	45	28	1.0	1.0
[6-2-5] オクタクロロペンタデカン類	24	20	15	0.75	0.74
[6-2-6] ノナクロロペンタデカン類	7.5	6.2	5.2	0.55	0.68
[6-3] 塩素化ヘキサデカン類(塩素数が4から9までのもの。)	130	70	34	※※6.7	※※7.8
[6-3-1] テトラクロロヘキサデカン類	12	9.9	5.3	1.1	1.3
[6-3-2] ペンタクロロヘキサデカン類	20	13	6.8	1.6	2.0
[6-3-3] ヘキサクロロヘキサデカン類	37	18	8.5	1.0	0.99
[6-3-4] ヘプタクロロヘキサデカン類	36	17	7.7	1.1	1.3
[6-3-5] オクタクロロヘキサデカン類	17	9.6	4.1	1.1	1.2
[6-3-6] ノナクロロヘキサデカン類	4.0	2.3	1.3	0.83	1.0
[6-4] 塩素化ヘプタデカン類(塩素数が4から9までのもの。)	80	44	20	※※4.7	※※5.7
[6-4-1] テトラクロロヘプタデカン類	9.5	8.3	4.2	0.81	0.99
[6-4-2] ペンタクロロヘプタデカン類	14	9.1	4.7	0.87	1.0
[6-4-3] ヘキサクロロヘプタデカン類	24	12	5.2	1.1	1.3
[6-4-4] ヘプタクロロヘプタデカン類	19	8.5	3.4	0.79	0.97
[6-4-5] オクタクロロヘプタデカン類	11	4.5	1.8	0.68	0.83
[6-4-6] ノナクロロヘプタデカン類	2.9	1.5	※0.50	0.42	0.51

(注1) ※: 参考値(調査対象物質ごとに統一して設定した「検出下限値」未満)

(注2) ※※: アルキル基の炭素数別の検出下限値の合計値である。

(注3) アルキル鎖の炭素数が14から17までで、かつ、塩素数が4から9までのものの合計値を算出する際にはndを0として算出している。

(注4) 塩素数が4から9までのものの合計値を算出する際にはndを0として算出している。

(注5) 塩素数が5から8までのものの合計値を算出する際にはndを0として算出している。